

# ACCENTURE CAREER

Accenture Song 異なる職種のメンバーが協働して進めるプロジェクトワーク ～JICA事例～

## VIDEO TRANSCRIPT

「若い世代等の新しい層に、どうやって認知を広げていくかが課題でした」

「全体のリブランディングが必要です」

「より使いやすいインターフェースになるようアイデアを出し合いました」

「メンバー全員が同じ方向を向いて取り組んでいけるように、全員で話し合って進めていきました」

コンサルタント Mai S.

私たちはJICAが運営する国際キャリア情報サイト「PARTNER」の刷新のために、ロゴや理念、UI/UXデザイン、ユーザーとのコミュニケーションも含めた、全体のリブランディングに取り組みました。国際協力についてリサーチしてみると、「敷居が高い」「英語ができないといけない」など、そういったイメージがあることが分かりました。業界のイメージを刷新することで、より幅広い層に興味を持ってもらう——それがアクセントチュアに課されたミッションでした。このプロジェクトでは、職種や所属を超えてあらゆるメンバーが集まりました。

## クリエイティブ Kiminori S.

多くの人に国際協力に興味を持ってもらうためには、既存イメージの変革と、明確なビジョンの発信を通じた新たなイメージの構築が最適だと考えました。つまり、全体のリブランディングが必要です。既存ユーザーが疎外感を感じず、新規ユーザーが参加しやすいと感じるブランドのコンセプトを設計し、メッセージとビジュアルに落とし込んでいきました。

## エンジニア Yoko H.

出来上がったクリエイティブに対して、デザインやインタラクションが技術的に実現可能かを検証しながら、より使いやすいインターフェースになるようアイデアを出し合いました。操作性を考慮してデザインをコード化し、ウェブサイトユーザーが直接触れるインターフェースを構築するのが私の役割でした。

## マーケティング Yuichi T.

若い世代等の新しい層に、どうやって認知を広げていくかが課題でした。国際協力に興味がある層には、JICAのオウンドメディアを中心としたアプローチを、新しい層にはデジタル広告を提案しました。登録後も継続して再訪してもらえるようメールマーケティングの戦略とシナリオも作成しました。文字通りの「広く告げる」だけの広告展開や、サイトのデザインを変えて終わり、ではなく、エンドユーザーまで届ける施策を考えました。



コンサルタントMai S.

メンバー全員が同じ方向を向いて取り組んでいけるように、このプロジェクトの社会的意義であったり、大切にしたい価値観について、全員で話し合っ進めていきました。また、お客様が信頼してくださって、我々からの新しい提案も受け入れて、チャレンジしてくれたことが本当に励みになりました。コンサルタント、エンジニア、マーケティング、クリエイティブ。こういった異なる領域のタレントが集結しているアクセントチュアだからこそできたプロジェクトだと感じています。

このプロジェクトのように、お客様のマーケティングを根本から刷新する、そんな案件に参画できるのがソングの魅力です。

あなたも、こんなタレント達と一緒に、働いてみませんか？

Copyright © 2024 Accenture

All rights reserved.

Accenture and its logo

are registered trademarks

of Accenture.